

あいな里山公園情報

～国営明石海峡公園神戸地区だより～



トピックス

- 321日ぶり サロン開催
- 展望台、頂上までスッキリ
- 公園作りの両輪 現場と会議
- 子どものいる里山の風景
- あいな写真館
- 環境教育の研究

秋のあいさつ

日ごと日没が早くなるこの時期、山全体が、少しずつ冬支度を始めているような感じすらさせてくれます。

そんな秋の里山を彩る植物達。左の写真を見て、何か思いつく事はありますか？ これらは全て藍那で撮影されたもので、左上から①桔梗(キキョウ)、②女郎花(オミナエシ)、③萩(ハギ)、④撫子(ナデシコ)、⑤葛(クズ)、そして⑥尾花(オバナ=ススキ)です。

この6つに、藤袴(フジバカマ)を加えると「秋の七草」と呼ばれている草花達なのです。

製作・発行

国営明石海峡公園事務所 神戸地区現場事務所
〒651-1104 神戸市北区山田町藍那字伝庫14
TEL(078)593-3943 FAX(078)593-3944
kobe@kokueiakashi.go.jp
<http://www.kokueiakashi.go.jp>



10/8 「プレゼントガーデン」によるアングルン演奏(しあわせの村にてPR活動をしていただきました)

10/22 NPO法人自然と友達になろうによる野鳥観察のようす

10/22 「神戸市北区おやこomezukuri道場」によるイモ掘りイベントが行われました

10/13 相談ヶ辻の家において「あいな茶屋」による試食会が行われました

10/24 「神戸市小学校教育研究会理科部」による里山探索のようす

次の発行は12月中旬頃の予定です

国営明石海峡公園神戸地区「あいな里山公園」における環境教育の研究

甲南大学環境総合研究所では、国営明石海峡公園神戸地区「あいな里山公園」において、幼稚園児から小学生、中学生、高校生、大学生そしてそれぞれの段階の学校教育者、および市民やNGO・NPOの指導者などを対象として、この公園における環境教育の普及・推進を行なうために、学校教育の現場や市民、そして世界の大学に情報を発信すると同時に、公園内でモデルとなる環境教育プログラムの作成・実施・検証、環境教育の活動支援および教材開発を目的とした研究活動を展開しています。

あいな里山公園は、阪神圏とくに神戸市・大阪市などの大都市周縁に位置し、都会の生活から離れて憩いの場となる「心の故郷」でもあります。また、あいなにおいて、環境教育の体験学習が行なわれることは、生命(いのち)に触れることによって「心の教育」も同時に進められることとなります。さらに、こうした里山活動を通じて、日本の里山文化の研究も進み、その成果を国内外に発信することによって、世界の人々の「心の故郷」にもなる可能性を秘めています。

このように、地域や市民が主体的に活動する内発的発展による持続可能な循環型里山公園づくりを目指して研究活動を実施しています。今後、環境教育やその普及・推進に興味のある一般市民、そして公園内で活動されている参画事業者の方々には、講座の講師として御協力をお願いするともありますが、よろしく願いいたします。

甲南大学環境総合研究所 所長 谷口文章



兵庫県教育委員会・甲南大学主催の「10年教育者研修会」にて竹林管理の実習や里山の自然観察等を行なう(写真左)。APN(アジア太平洋地球変動研究ネットワーク)国際会議2006「環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築に向けて」のエクスカージョンにて復元中の茅葺民家を紹介(写真中央)。市民参画事業者「あいな里山ピオパーク」の稲刈りへの協力(写真右)。

あいな写真館

